



雑誌を一枚ずつ破る事で機能訓練になります。  
日光紙業さんで買い取ってくれる値段も少し高くなるので、毎日頑張っています！



リサイクル回収へのご協力いつもありがとうございます。  
コムハウスでは、なかま達がリサイクル品(古紙)を積み込んだり、雑誌を破ったり、作業を頑張っています。力仕事も多いので大変ですが、沢山あるとやりがいもあるので、これからもご協力をよろしくお願い致します！

コムハウスに「すまいる班」という重症心身障害のある方が利用されている1室がある。この部屋は、毎月第2土曜日になると、医療的ケアを必要とするお子さんが家族の運転する大きなワンボックス車で出かけてくる。そこには、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・養護学校教諭・福祉施設職員などがボランティアで集まり、お子さんを1日お預かりし、楽しい時間を過ごしている。

なぜこの場があるのか、必要なのか、この場を主宰した太田瑞穂さんは、私の尋ねに次のように話をされた。「重い障がいのある子のお母ちゃんたちはね、四六時中自分だけの時間なんてないの。わが子の命を守るためにね。家族や兄弟も。お母ちゃんは24時間障がいのある子の世話をしているからね。だから、この場を利用した時だけでも、お母ちゃん達に自分のため他の子のために過ごす時間をプレゼントしたいの。だから何があってもこの日この時間は開催するのよ。だって私は、こうした障がいのある子やお母ちゃん達から沢山の学びやつながりをプレゼントしてもらってきたから。」

この場を主宰された太田瑞穂さんは、2021年2月14日79年の生涯を閉じられました。太田瑞穂さんは、松本養護学校をはじめとする教育現場で、障がい児教育に尽力された方でした。なかでも重症心身障害のある子どもたちの自宅に訪問して学びを保証する「訪問学級」を担当され、その子どもたちが成人になっても「地域で自分らしく暮らせる」ことを強く願い、コムハウス建設運動にも関わっていただきました。

この場は、『ちごちごの会』として、今も毎月第2土曜日に開催されています。

さみしいな。夢をいっぱい語り合いましたね。楽しかったね。ありがとう、太田先生!!

太田瑞穂さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

社会福祉法人アルプス福祉会  
常務理事 片桐政勝